



学級担任中心で進める 小学校外国語活動(英語活動)

福岡県大牟田市立明治小学校 宮下 哲夫



大牟田市の取り組みから

福岡県最南端に位置する大牟田市は、平成9年の炭坑閉山まで石炭関連産業地域として日本のエネルギー産業を支えてきた街です。近年は、新しい街づくりに向け、市をあげてさまざまな取り組みがなされています。

教育についても、市の特色の一つとして、平成12年度から全小学校で英語活動を実施し始め、今年で11年目を迎えています。教育特区ではなく、通常の公立小学校での英語活動であり、しかも、学級担任を中心とした取り組みです。学級担任が進めるよさには、次のような点が考えられます。

- ①子どもの実態を把握している。
- ②子どもの実態に応じた活動を計画できる。
- ③活動中も、子どもの様子を見ながら指導できる。
- ④教師が英語を話そうとするモデルとなることで、教師の姿を見て子どもも意欲的に活動する。
- ⑤外国語活動(英語活動)のよさを学級経営に生かすこともできる。

このような方針のもと、各学校では、授業を中心にして校内研修を行い、子どもの実態に応じて実践を重ねてきました。明治小学校でも、学級担任が進める外国語活動(英語活動)の充実を図るため、「子どもと共に楽しむ外国語活動」を合い言葉に、全職員による協働体制を築いています。

明治小学校の研究の取り組み

本校は、平成18年度に市教育委員会から

「英語活動」の研究校指定を受けました。また、平成19年度から文部科学省の「小学校における英語活動等国际理解活動推進事業」の拠点校、平成21年度は「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業」の研究校、さらに、国立教育政策研究所の「小学校における英語教育の在り方に関する調査研究」の協力校として、外国語活動(英語活動)の研究を行ってきました。現在は、県教育委員会から3か年の重点課題指定を受け、「コミュニケーション能力の素地をはぐくむ外国語活動の創造」を主題に、これまでの実践の基盤の上、全学年でさらなる研究を続けています。

そして、このような取り組みの様子を保護者や地域の方、さらに県内外の先生方に授業参観や学習発表会^(※1)などで随時公開し、「開かれた学校」化に努めているところです。

(※1) 2010年11月10日(水)、本校にて「外国語活動公開研究会」を開催

外国語活動(英語活動)の授業の推進

平成23年度から5・6年生で外国語活動が完全実施されますが、本校では、すでに『英語ノート』の内容を基に、これまでの実践を踏まえて、2年間を見通したカリキュラムと毎時間の指導案(5・6年生の70時間分)を作成しています。授業では、『英語ノート』に示されたゲームを繰り返したり、活動を入れ替えたり、別の活動を加えたりするなど、『英語ノート』をそのまま使うのではなく、子どもの実態に応じた工夫をしています。

また、1年生から4年生の担任は、外国語

活動の目標や内容、そして『英語ノート』に基づいて、それぞれの学年の英語活動がどのように外国語活動につながっていくのか、単元や教材・教具の開発を行い、さまざまな授業を展開しています。

いずれにしても、コミュニケーション活動で大事にしなければならない点は、目的意識であり相手意識です。他の教科などでも行っているように、活動の目的を明確にし、また、子どもたちが友だちや担任、さらにはALTなどに自分のことや考えを伝えたいという思いを高める授業の工夫を心がけています。

学習環境、教材・教具の充実を

本校では、毎週水曜日の朝に15分間の「コミュニケーションタイム」を設け、外国語活動に関連した活動を行っています。

また、文部科学省作成のソフトや自作ソフトを使って、電子黒板を用いた授業を進めており、子どもたちの反応を見ながら、簡単に絵を提示したり、発音や歌を聞かせたりできます。さらに、絵や写真も自由に動かしたり、加工したりすることができるので、子どもたちの興味を高めながら活動を行うことができます。自作ソフトの作成は、それぞれの担任が行っていますが、全職員の共有教具として職員室に保管し、いつでも使用できるようにしています。もちろん、すべての授業を電子黒板を活用しながら進めているのではなく、必要に応じて効果のある使い方をするように留意しています。

加えて、子どもたちが日常生活を通して英語表現に触れる機会があれば、英語に自然に慣れ親しむことができると考え、学年掲示板の活用やアナウンスショット^(※2)の設置、放送委員会による簡単な英語での放送など、校内環境の整備を行っています。

教材・教具の準備では、学習支援ボランティアに手伝っていただくこともあります。このように、研究や授業の教材・教具の共有化を図るため、校内研究便りの発行や教材コー

ナーを整備しています。

(※2) 人が通ったときにセンサーが感知し、録音されたネイティブの音声を流す装置

Hello! / How are you? / What day is it today? /
How is the weather today? / What time is it
now? / Good job. / Have a nice day.

学校全体で取り組む外国語活動(英語活動)

外国語活動(英語活動)を進めていくためには、やはり校内研修を十分に行う必要があります。そこで、本校では、公開授業、理論研修会、発音研修会など、研修内容を研究内容と関係づけて、効率的・効果的に行うようにしています。

本校の職員室では、だれかが教材・教具をつくっていると、学年をこえて協力したり、アイデアを出し合ったりしている姿がよく見られます。担任も楽しんで外国語活動(英語活動)に取り組んでいます。だからこそ、子どもたちも意欲的に活動していると思われます。

外国語活動の目標は、「コミュニケーション能力の素地を養うこと」です。1年生から4年生に関しては、新学習指導要領等で指針が示されてはいませんが、本校では、この目標を踏まえて指導しています。子どもが人との関わりを楽しみながら、コミュニケーションを図る大切さを学んでいくことこそ、外国語活動(英語活動)の目指すところであるということを忘れず、今後も全職員で授業づくりを考えていきたいと思います。



6年生が電子黒板を使用している授業の様子